

# 【（公財）東京都歴史文化財団】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

## 活用戦略で定めた「団体の将来像」

### 東京の多彩な芸術文化を牽引し、発展させるプロフェッショナル集団

#### 重要課題 ①

あらゆる人々が共に芸術文化を創造し、文化の魅力であふれる都市東京の実現に向けて、団体のノウハウ・人材を活用し、現場発の新たな事業展開や施策の提言をいかに進めていくか

#### 検討の状況や今後の方向性

- これまでの重点的取組に新たなコンセプトをプラスし、施設と分野を横断して財団全体の総合力を発揮して取組む
  - ①文化の敷居を低くする(参加型、体験型)
  - ②文化を超えたコラボレーション
  - ③サードプレイス、ウェルネス
  - ④インバウンドへの貢献
  - ⑤マーケティング視点でのアプローチ
- 国内外から多くの人々が訪れる注目度の高い取組を展開し、また芸術文化の力で社会的課題解決に貢献し、2020大会後のレガシーを作り上げていく

## 【（公財）東京都歴史文化財団】の課題と今後の方向性

<b>重要課題</b> ②	<b>多様な社会背景を持つ人々が芸術文化を楽しむことができる環境を整える。さらに芸術文化の持つ力で、福祉や教育などの社会的な課題解決に貢献</b>
<b>検討の状況や今後の方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 子供、高齢者、外国人や障害のある人等が、芸術文化を気軽に楽しむことができるよう、アクセシビリティの向上、参加機会の拡大を施設を横断して検討。各館等が行なってきた付加価値の高い事業スキームをより効果的な事業として、財団をあげて展開する。<ul style="list-style-type: none"><li>・テクノロジーを活用して、ハンディキャップのある人の鑑賞をサポート</li><li>・様々な環境にある方に、参加できる場や機会を提供</li></ul></li><li>○ 社会課題解決に貢献していくため、現場発想を基に福祉分野等と連携を図り、立案していく。</li></ul>